

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	児童養護施設 森の木
------	------------

# 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

## ②第三者評価実施期日

令和元年 12 月 12 日・13 日

## ③事業者情報

名 称： 森の木	種 別： 児童養護施設
代表者氏名： 荒木啓司	定員（利用人数） 33名
所在地： 大分県大分市中尾 4 5 7 - 1	
TEL： 0 9 7 - 5 4 9 - 3 5 0 8	

## ④総評

### ◇評価の高い点

福祉を取り巻く環境変化に適切に対応するために、法人本部が「第 2 次大分県福祉社会中期事業計画」を策定し、経営基盤の強化、福祉人材の確保と育成等、福祉サービスの更なる質の向上をめざし、この計画のもと、当施設が取り組むべき個々の事業の推進を、計画的かつ確実に取り組んでいる。具体的な事業計画として、施設の小規模化と地域分散化、地域・児童家庭支援センターの機能充実・施設の退所児童の継続的支援・里親支援の機能の充実・人材の育成・職員の働き方改革を掲げて、予算化するなど着実に実行されており、児童支援の質的な向上をめざして、施設のハード面、運営のソフト面の総合的な支援に積極的に取り組んでいる。

- ・理念の中に、個々の職員が「自己実現できる森の木」をめざし、意識改革に取り組んでいる。
- ・要保護児童の支援の新規事業の受入や生活困窮者自立支援の事業に取り組んでいる。
- ・自活訓練等を使って、一定期間一人暮らしを体験したり、SSTなどの研修に参加するなどして、職業指導員・担当職員が中心となり、リービングケアを行っている。退所者が集まれる機会や退所者と入所している子どもが交流する機会を設けている。
- ・職員行動規範においても、自立支援について職員で支援の方向性を統一している。
- ・年齢や個人差に応じて食事時間を配慮しており、いつでも適温の食事が提供できるよう配慮している。

◇改善を求められる点

- ・人材育成で、職員が長期にわたって定着できるように職務の過重性の軽減、職場で他の職員とともに働ける喜び、仕事へのやりがい等の意識の高揚づくりについて、職員間で検証するなど、組織的に継続して取り組むことを期待する。
- ・子ども(特に低年齢)に権利や権利擁護に向けての取り組みを分かりやすく説明することを継続するとともに、子ども達が「自分が大切にされている」と感じているか、職員が定期的に検証する機会を設けることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、12月12日、13日の両日にわたり、懇切丁寧なご指導をいただき誠にありがとうございました。

前回は上回る高評価をいただきありがたく感謝申し上げますと同時に、今後ますます支援の充実に努めていかなければならないと身を引き締める次第であります。

「養育・支援の基本方針と組織」「施設の運営管理」「適切な養育・支援の実施」のそれぞれの項目ごとにご指導いただいたことを内部の検討委員会の中で精査し、みんなが安心して暮らせる森の木の実現に取り組んでまいりたいと考えます。

今後とも、温かいご指導を引き続きお願い申し上げます、受審のコメントとさせていただきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）